

平成22年度第1回神奈川地区センター委員会議事録

日時 平成22年6月5日(土) 10:00~11:30
場所 神奈川地区センター中会議室
出席者 委員 A会長 B副会長 C委員 D委員 E委員
(欠席: 1名)
(委任状: 4名)
事務局 事務局次長
地区センター 館長 副館長2名

【報告】

(1) 平成21年度事業報告

ア 利用状況等についての報告

館長より資料説明(資料1)

- ・平成21年度の神奈川地区センターの稼働率はAV72.4%で、対前年度比7.3%の増となっています。当該稼働率は横浜市内地区センター80館中2番目の成績。平成22年4月は、対前年度比5.3%増、5月は9.3%増となっている。
- ・平成21年度利用人数は合計105,135人で、対前年度比は4.6%の増となっている。平成22年の4月&5月は対前年同月比で若干利用人数が落ちているが秋に向かって増えると予想される。

質 疑

Q 稼働率とは

A 部屋利用総時間を稼働時間で割り出したもの。

イ 利用料金収入状況についての報告

館長より資料説明(資料2)

- ・平成21年度利用料金収入は5,592,620円。対前年度比9.3%の増となっている。

ウ ニーズ対応費の執行状況についての報告

館長より資料説明(資料3)

- ・平成21年度ニーズ対応費は1,263,686円の支出。内訳は次のとおり。
No1センターまつり諸費用348,616円。
No6は音楽室ヤマハCFⅢ(コンサートピアノ)の調律代120,750円。
NO8はパーティーDAM(移動式カラオケ)のリース料。お客様要望

により設置したもの。今後は通年支払いとなる。近隣の方が和室や音楽室で利用している。

質 疑

- Q ニーズ対応費の予算額 1,248,000 円は行政からの内示額か。
A 平成 18～22 年度の 5 ヶ年間はこの定額が区から充当されている。
Q 金額が足りない時はどう対応するのか。
A 神奈川地区センター一般会計より補填充当する。

エ 自主事業の実施状況についての報告

副館長より資料説明（資料 4）

- ・ 平成 21 年度は計 40 事業を実施。
- ・ 自主事業への延べ参加人数は 3,912 名。
- ・ 平成 21 年度は食に関する事業を多く開催した。
- ・ 歴史の道コンサートは計 8 回開催
- ・ ジャズコンサート、ダンスパーティーでは、多くの皆さんのご参加をいただいた。

質 疑

- Q 男の料理教室は人気が高いのか。
A とても人気があり、お客様の強い要望があったため計 3 回開催した。
Q 平成 21 年度の自主事業数は 40 だが、これ以上増やすことはあるのか。また参加費の内容は。
A 自主事業を開くためには部屋を押さえる。結果一般利用向けの部屋が減るため 40 事業程度が限度と考える。参加費は実費だ。
Q 初級社交ダンスの参加費 5,500 円は他の事業の参加費と比べて少々高い気がするが。
A 9 回コースのため 1 回の負担金は約 600 円。

オ 第 24 回センターまつりについての報告

副館長より資料説明（資料 5）

- ・ 出場団体 43 団体 今年度は新しいグループが多数参加いただきました。
- ・ 出場者 計 468 人。
- ・ おもちつき等地域の方のご協力約 30 名。
- ・ 来館者数約 3,420 名。

センター委員よりご意見

- ・ 1 階にとっても多くの人が集まるが 2 階は展示のみなのでなかなか人

- が集まりにくい。展示に興味を持っていただくのはとても大変。
- ・カラオケがとても人気があった。

カ 収支についての報告

事務局次長より資料説明（資料 6）

- ・ 神奈川地区センター平成 21 年度指定管理収入決算額 30,754,000 円。
利用料金収入 5,606,130 円。
雑入では自動販売機手数料 788,724 円。
収入合計 38,355,126 円。
- ・ 支出は人件費が約半分をしめており 19,079,914 円。
- ・ 事務費の中の通信費はインターネット利用でこれからも増えると予想。
- ・ 光熱水費は予算額よりも抑えられている。
- ・ 支出合計 36,409,610 円。平成 21 年度は 1,945,516 円の余剰金。

(2) 平成 22 年度事業について

ア 予算についての報告

事務局次長より資料説明（資料 7）

- ・ 平成 22 年度指定管理料は予算額 30,854,00 円。前年度より 10 万円多いのは 3 年に 1 回の特殊建築物定期調査のため。利用料金収入は昨年度予算額と同じ 3,745,000 円。

質 疑

- Q 地域協力費はどうして 0 円となっているのか。
- A 必要な場合は事務局で負担している為各施設とも項目立てだけ。

イ ニーズ対応費についての報告

館長より資料説明（資料 8）

- ・ ホワイトボードは 5 月 10 日に購入済み体育室で利用
- ・ センターまつり、ピアノ調律（年 5 回）、トイレカルミック（12 ケ月）、カラオケリース（12 ケ月）を予定しており残りの 218,850 円で小会議室のオートロック式機とコミック購入で対応を予定。

質 疑

- Q カラオケリース代 360,000 円はとても高額だが、その一部をカラオケ利用者に負担していただくのはどうか。他の区ではどのような対応なのか。
- A 他の区では利用 1 回につき一団体 300 円の例はあるが区によって対応が異なる。神奈川区としては、高額備品の利用に当たって利用者負

担をお願いすることについて行政としての判断が出ていない。

ウ 自主事業についての報告

副館長より資料説明（資料 9）

- ・ 平成 22 年度の自主事業数は 6 月時点で 33 事業を予定。
- ・ NO7 国連職員が教える小学生のプレゼンテーション教室は先日の毎日新聞に記事が掲載された。
- ・ NO30～NO33 今年度は海外見聞録としてスペインを予定。

その他の配布資料（案件以外）

館長より説明

- ・ NO1～11 までの概要を説明

事務局次長よりセンター委員へのお願い

- ・ 神大寺地区センターは、神奈川区事業としての神大寺地域の青少年の居場所作り事業の拠点になっている。区は同様の事業を各地区センターの対象地域で展開する予定。区としては、今後 12 月までの間に、地区センター委員の方々や様々な地域の方々にお集まりいただき同事業の趣旨を説明する場を設ける予定ということだ。区の日程等詳細が明らかになった時点で皆様にもご連絡を差上げるのでご協力をお願いしたいという話が区より来たので、この場でお伝えする。

次回第 2 回センター委員会は 10～11 月を予定。

第 3 回は来年 3 月頃を予定。

本日は多々ご意見をいただきありがとうございました。

委員の皆様よりいただきましたご意見・ご指導を今後とも神奈川地区センターの運営に役立てていきますのでよろしく願いいたします。本日はありがとうございました、